

人工知能等の研究開発の効果的な推進

1. 文部科学省研究開発 再評価結果（案）
「AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project
人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト」
2. 産業競争力の強化を目指したオールジャパンでの
体制構築

平成 28 年 9 月 15 日
総合科学技術・イノベーション会議

1. 文部科学省「AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project 人工知能／ビッグデータ／IoT／サイバーセキュリティ統合プロジェクト」再評価結果（案）

概要

【実施期間】平成28～37年度 【予算】平成28年度予算額54億円

本プロジェクトでは、革新的人工知能・ビッグデータ解析・IoT・サイバーセキュリティ技術を統合して、Society5.0を実現する次世代プラットフォームを形成するとともに、多数の応用分野で経済的・社会的価値を創造する。このため、**理化学研究所**に世界トップレベルの研究者の力を結集した**新たな研究拠点を設置**する。また、**総務省・経済産業省と連携し、基礎研究から応用研究までを一体的に実施する体制を構築**する。情報科学技術に関わる研究者育成にも取り組む。

革新知能統合研究センター（理化学研究所）

1,450百万円

主な取組

- ・世界をリードする革新的な人工知能基盤技術を構築。
- ・社会・経済価値を創造する多数の応用領域の社会実装を推進。

戦略的創造研究推進事業（一部）（科学技術振興機構）

新規採択課題分 1,150百万円

関連する既存採択課題分 2,849百万円

主な取組

- ・大学等の研究者から広く提案を募り、組織・分野の枠を超えた時限的な研究体制を構築して、戦略的な基礎研究を推進。

再評価結果

総合評価

Society5.0の中核技術であり、あらゆる産業の競争力強化のための基盤の開発であることから、本プロジェクトの意義は非常に高く、**国家プロジェクトとして進めるべき重要課題**である。

主要な指摘事項

プロジェクトの効果的な推進にあたり、

- ① 継続的な産業競争力強化の観点から、短・中・長期に分けて研究開発テーマや成果目標を設定すべき。
- ② **総務省・経産省とビジョンやロードマップを共有しつつ、役割分担・権限・責任を明確化**すべき。
- ③ **優秀な研究者の獲得に向け、雇用環境の整備**が必要。

また、我が国全体の研究開発の加速に向け、**人工知能技術戦略会議の強いリーダーシップの下、**

- ④ **研究開発目標と産業化ロードマップを早急に作成**すべき。
- ⑤ 3省連携にとどまらず、解決すべき**社会課題を所管する関係省庁と目標設定を共有**すべき。
- ⑥ 出口戦略の明確なSIPと連携し、研究開発成果の早期実用化を図るべき。

2. 産業競争力の強化を目指したオールジャパンでの体制構築

～CSTIがリーダーシップを発揮して主導～

産業界

研究成果の早期実用化

人工知能技術戦略会議 (未来投資会議の下で具体化)

AI研究開発・イノベーション施策の3省連携を主導
(安西議長、CSTI久間議員、5法人の責任者、産業界、学术界、3省の局長)

総務省

情報通信研究機構

CiNetセンター長：柳田 敏雄

脳情報通信、音声翻訳
革新的ネットワーク等

文部科学省

理化学研究所
革新知能統合研究センター
センター長：杉山 将

基礎研究、人材育成
大型計算機資源等

経済産業省

産業技術総合研究所
人工知能研究センター
センター長：辻井 潤一

応用研究、標準化
共通基盤技術等

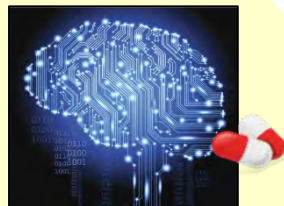
関係省庁

農林水産省



スマート農機
高度水管理
農作物の病徴診断

厚生労働省



画期的医薬品の創出
診断補助技術

国土交通省



ドローンによる3次元測量
ICT建機、検査省力化

内閣府 (SIP)



革新的燃焼技術
杉山 雅則



革新的構造材料
岸 輝雄



エネルギーキャリア
村木 茂



インフラ維持管理・
更新・マネジメント
技術 藤野 陽三



自動走行システム
葛巻 清吾



重要インフラ等に
おけるサイバー
セキュリティの確保
後藤 厚宏

出口戦略の共有